

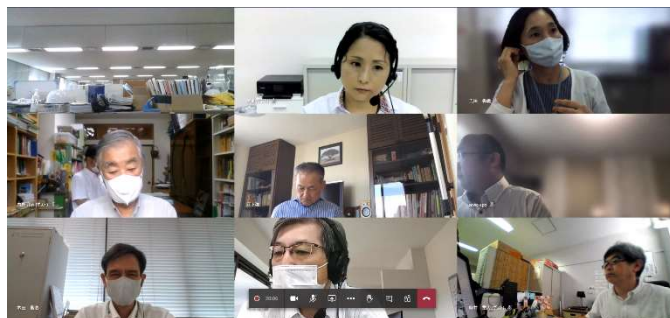
第3回 緑の基本計画改定委員会 議事概要

日時：令和2年8月27日（月）14:00～

場所：TeamsによるWeb会議

議事次第

1. 開会
2. 環境推進部長挨拶
3. 議 事
(1) 第2回委員会の意見概要と対応について
(2) 熊本市緑の基本計画改訂 骨子案
(3) 熊本市緑の基本計画改訂 施策体系案
(4) 熊本市緑の基本計画 アンケート調査報告
(5) 第3回会議資料に関する事前意見
(6) その他・質疑応答
4. 閉会



配付資料

- 会議次第 ■ 委員名簿 ■ 熊本市緑の基本計画改定委員会運営要綱
- 「熊本市緑の基本計画」の改定について
- 資料1：第2回委員会の意見概要と対応について
- 資料2：熊本市緑の基本計画改訂 骨子案
- 資料3：熊本市緑の基本計画改訂 施策体系案
- 資料4：熊本市緑の基本計画 アンケート調査報告
- 資料5：第3回会議資料に関する事前意見

委員一覧

	氏 名	所 属（役職）	備 考
1	内野 明德	熊本大学名誉教授、熊本市環境審議会会長、 熊本市生物多様性推進会議委員長	委員長
2	田中 尚人	熊本大学熊本創生推進機構准教授	副委員長
3	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究科准教授	
4	蓑茂 壽太郎	東京農業大学名誉教授、熊本県立大学客員教授、 熊本市都市政策研究所所長	
5	伊東 麗子	日本樹木医会熊本県支部	
6	岩佐 弘子	熊本市緑の少年団連盟会長、熊本市地球温暖化防止活動 推進員	
7	大川 洋次郎	熊本市公園愛護会連合会会長	
8	澤 克彦	一般社団法人九州環境地域づくり代表理事九州環境 パートナーシップオフィス業務責任者	
9	河上 強	熊本市学校環境緑化コンクール審査委員	
10	福西 江玲奈	市民公募委員	

発言者	内容
1. 開会	
事務局 (吉田)	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今より、第3回熊本市緑の基本計画改定委員会を開催する。本日はお忙しい中ご出席いただき大変ありがとうございます。 ・今回の会議であるが、第3回の骨子ということで実際に集まって会議形式を取るはずだったが、新型コロナウイルスの影響により、今回もウェブ会議とさせていただいた。制限のある中での会議となるため、事前にご意見を提出して頂き、少しでも意見を交わしていただくように工夫をした。委員の皆様には事前の資料の確認・ご意見の提出を感謝申し上げます。 ・開催に当たり、環境局環境推進部長本田よりご挨拶を申し上げます。
2. 環境推進部長挨拶	
環境局環境推進部 (本田)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日はお忙しい中、熊本市緑の基本計画改定委員会に参加いただき大変ありがとうございます。 ・第2回WG、第2回庁内連絡会議、第2回外部委員会会議の意見を踏まえて骨子案を作成した。熊本市緑の基本計画の方向性を決める上で重要な方針の決定となるため、皆様の忌憚のないご意見をいただきたい。
事務局 (吉田)	<p>(配布資料について確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の会議は次の素案に繋がる会議になるため、会議終了後に会議のまとめを早めに行い各委員の皆様へ送付し、まとめの内容の意見を伺いたいと考えている。 ・これから先は内野委員長に司会の進行をお願いします。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議事次第に従い、議事を進めさせていただく。 ・16時までの審議となる。ご協力よろしくをお願いします。
3. 議事(1) 第2回委員会の意見概要と対応について	
<p>≫事務局(東園)より、資料1「第2回委員会の意見概要と対応について」を説明。</p>	
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定について政策課との連携を図り、骨太の方針としてほしいと考えている。風致地区等の問題についても反応がないがどのように考えているか。
事務局(東園)	<ul style="list-style-type: none"> ・骨太の方針を打ち出せるように資料作りに取り組んでいるが、成果が出せていない箇所はあるかと思う。 ・事務局が考えている方針として、緑の量だけでなく質に重点を置いた新たな森の都と考えている。これが伝わるように資料の工夫を行って行きたい。
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これから追加されるのだと思うが、現在記載されている新たな施策は、環境共生課のみで行えることばかりである。全庁的な意見を聞いていくことで、骨太の緑の基本計画になるのではないか。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に重要で難しい問題である。
事務局(吉田)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市局を中心に各課との連携を図っており、今後は素案に向かって新しい内容が反映できるように調整を図りたい。
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひよろしくをお願いします。2度目の都市緑化フェアの実施にも配慮してはどうか。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・総花的になっているところをどのようにしていくのかの検討が必要と思う。
3. 議事(2) 熊本市緑の基本計画改訂 骨子案	
<p>≫事務局(東園)より、資料2「熊本市緑の基本計画改訂 骨子案」を説明。</p>	
伊東委員	<ul style="list-style-type: none"> ・サブタイトルについて、熊本はカタカナになっているがコンセプトやいきさつ等はあ

	るか。
事務局（吉田）	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の計画改定のポイントとしている緑の質の向上について、伝わるようにこのようなサブタイトルとした。また基本方針の未来都市という雰囲気が伝わるようにカタカナにした。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・カタカナの表記については私も違和感がある。 ・タイトル以外では、クオリティ＝質が強調されていない。 ・戦争による影響で立田山等が荒廃したことなど、熊本市の歴史を踏まえて、緑の質の向上を強く打ち出すべきだと考える。サブタイトルは長いため再考願いたい。
養茂委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトは物語性がないと共感できない。内野委員長が述べられたような熊本市の歴史の物語を記載してはどうか。住宅地の緑化などと結びつけて原案をつくって頂きたい。サブタイトルは長いため「熊本の緑 質の向上プラン」などでよいと考える。 ・政令市になったため、以前の計画とは全く異なるものになると考えている。 ・熊本市の5区がどのように基本計画を活用して市民と結ぶかが重要になってくるが、それがまだ見えてこない。アンケート等も区の特徴を考えて検討するべきではないか。
柳井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本と直接関係ない人からみると「新たな森の都」とはなにか明確に分からない為、記載が必要である。新たな方針は方法論であるため「新たな森の都」そのものの内容について記載してほしい。 ・アンケートで質に満足しているか聞いているが、「緑の質」とは、景観的な質や生き物の豊かさなどの観点もあり明確でないと思う。「新たな森の都」と「緑の質」について読み解いて繋げていってほしい。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たな森の都」と「緑の質」の定義を定める必要がある。
岩佐委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑の質」について、福岡市には造園や樹木医などプロの集団がおり、樹木の管理などを行っている。熊本市にはプロの方はどのくらいいるのだろうか。 ・福岡市では街路樹と公園は同じプロの方が管理しているが、熊本市は別で管理しているため緑が繋がりにくい。熊本市においてもプロの方を育てる人材育成なども必要だと考えている。人材育成を行ったうえで緑の拠点と拠点を結ぶ必要がある。 ・樹木医から見れば、災害に弱い街路樹への対応もできると思う。地域拠点をみて、どこでどのように街路樹を育てるのかなどもプロの目からみた検討をしてほしい。
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> ・造園職は熊本市にも複数名いるが人数が足りないのが現状である。外部の力を借りる必要性は感じており、緑化フェアを契機に緑のマイスターを増やし、講座などによって緑化重点地区の緑化と緑化意識高揚を図りたいと思う。そうすることで、街路樹等にも反映していきたい。
伊東委員	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県には32名程いる。市役所に造園職の人もいるが、残念ながら行政にプロがないので質の向上がうまくいってない印象がある。 ・福岡市は、緑のまちづくり協会があり、プロがたくさんいて福岡県樹木医会や街路樹診断協会があり連携を取っている。このような他都市の事例を勉強することもいいヒントになる。 ・緑に関する啓発は市民だけでなく、職員に向けても行わないといけない。 ・街路樹は土木系の方が管理しているが、意見や指導を行ったとしても、緑をいきものとして捉えていない方が管理すると、問題が発生する可能性がある。
岩佐委員	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡では行政内に100名程度のプロの方がいると聞いている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今後職員の数だけでなく、そのような組織作りを期待したいと思う。その中で学校内の緑などについてもよろしく願います。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・プランの中でSDGsの記載があるものの、説明の中にはほとんど記載されていない。 ・SDGsは目標が重要なのではなく、誰一人取り残さない、みんなに役割があるといった内容が重要になる。 ・子供から年配の方までみんなが参加し、ファンを作ることが大切である。 ・みんながそれぞれでできる範囲でできることをやるといったことを打ち出さないと、ただの行政計画になる。手段としてSDGsを使っていいのではないか。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の方も参加できる花壇づくりなども必要だろう。
河上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の質の向上がポイントとなると思う。 ・基本方針の「守る・育む・活かす・繋げる」は、市民参加を求める上で、わかりやすく良いと考えている。守るから繋げる命のリレー、都市機能の向上、緑の力を高め高めるなどを目指す必要がある。 ・P1の緑の役割について5項目ありわかりやすいため、5つごとに目標を設定してはどうか。評価基準は難しいが、たとえば、緑の役割の項目別に評価項目を考えていくことが緑の質の向上につながるのではないか。 ・市職員向けの基本計画ではなく、市民が読みたくなるような基本計画にしてほしい。物語性も必要であると思う。
福西委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P2の上位関連計画の図について、熊本市総合計画や熊本市マスタープランを作っているとHPで知ったが、緑に関してどのくらい整合性がとれているのだろうか。 ・友人が中心市街地、景観の市審議会の委員となっているが、緑についての議論はないようだと言う。 ・市内部の部局ごとにどの程度整合しているのか心配である。 ・福祉、障がいや病気の方からみた緑、子どもからみた緑といった他部局との連携を図れないか。子どもや福祉との関連性とも結びつけながら考えてほしい。
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内で関係各課に意見を頂き調整している。土木、学校、農業、区役所などの意見ももらっている。健康づくりに関係する課にも参加してもらっているが、障がい福祉関係についてはまだ調整が出来ていない。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・上位関連計画は、総合計画のどこを受けて、基本計画に反映させているというところは図だけでなく文章も書いていく良いと思う。
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内での理解がどのように進むかが重要である。毎年改定版ができていけば、庁内の理解が進むと思う。PDCAについて庁内での進行管理を適切に行うようにする必要がある。公園数、街路樹数などの進捗を共有してはどうか。
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性についての推進会議では、毎年進捗についての綿密な資料があるがそれと同様のものがあればいいと思う。
柳井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAについてcheckの箇所に重きが置かれているが、ひとつ前のDoについても重要である。どのように推進していくが、またその推進力の確保について、議論が必要である。 ・緑の将来像図は、将来の目標として書いているのか。そうであれば、地域拠点やネットワーク（交通軸、河川軸）がどのようになるのかが見えないので、検討してはどうか。今は将来が描かれていないため、将来の意思を書き込んでほしい。
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針として4つあるが、それを踏まえて様々な施策を考え、ゾーンにどうやって

	入れ込んでいくか今後検討していきたい。
柳井委員	・施策の体系とゾーンの関係は分かるが、河川軸をどうしていくのか、拠点の意味等を将来像図に書いてほしい。将来像図を大事にしてほしい。
内野委員長	・将来像は非常に大事である。皆さんにインパクトを与える必要があり、細かく決めていく必要があると思う。 ・地域拠点などのそれぞれの考え方や、モデル地区の提示があるといい。
澤委員	・量と質の話の中で機能の話に行きがちであるが、どのような物語をこの計画に盛り込むのが明確になっていないところがある。 ・全体を活かした緑のメッセージをどう出していくのが大切だと思う。
蓑茂委員	・緑化重点地区のエリアの設定とは別に、重点事業という話はできないか。 ・量から質へという議論をすると、管理運営（マネジメント）が必要だというニュアンスが伝わるようにしてはどうだろうか。
3. 議事（3）熊本市緑の基本計画改訂 施策体系案	
≫事務局（東園）より、資料3「熊本市緑の基本計画改訂 施策体系案」を説明。	
内野委員長	・わかりにくい用語がある。最後に用語集をつけると思うが、途中で注釈をつけてほしいところもある。 ・事前意見にあった、パーク PFI について事務局から説明をお願いしたい。
事務局（東園）	・岩佐委員から維持管理コストの意見があった。施策の中に含めているが、パーク PFI や企業の CSR 活動を行っていきたいと考えている。
内野委員長	・公園についての PFI についてももう少し詳しく伺いたい。
事務局（東園）	・現在、指定管理者はあるが、公園 PFI 事業はしていない。今後とりいれていきたいと考えている。
蓑茂委員	・事業としてどうするのが大切であり、ストックの活用の観点、研きあげブラッシュアップするものがわかるといい。 ・これまでやっていた施策の中で、辞めようとしている施策はあるのか。制度的に古い施策を辞めるチェックも必要である。
事務局（東園）	・現計画の施策を含めて新しい施策を設定し、関係各課と確認や調整をして取捨選択している。
蓑茂委員	・10年くらいで制度疲労がおこる。辞めることも大切である。予算も決まっているので、外部資金や市民サポーター制度などを考えることが大切である。
内野委員長	・施策が総花的であるので、メリハリがない。よく考えて整理してほしい。
大川委員	・公園は大小様々で 1100 位ある。緑化活動が今後必要になるが、防災公園が少ない。緑化というのは火災予防にも、地震の際にも重要になってくる。避難車両をいれることのでき、樹木、花のある、水のある防災公園が必要である。 ・熊本市の木、花、県の木、花を並木に植えてはどうか。肥後ツバキの絵があるマンホールのように啓発してはどうか。 ・公園は安全安心の管理が大切であるが、高い木の管理ができないので、対応をお願いしたい。
3. 議事（4）熊本市緑の基本計画 アンケート調査報告	
≫事務局（東園）より、資料4「熊本市緑の基本計画 アンケート調査報告」を説明。	
内野委員長	・街路樹問題は市民に関心が高いため、街路樹再生計画のダイジェストを入れてはどうか。

岩佐委員	・クラウドファンディングなどによる資金調達を行う予定はあるか。
事務局（東園）	・クラウドファンディングは有効的なものだと思うが、行政ではその段階までしていない。その方向性を目指して、他都市の実績等を研究しながら行いたい。
3. 議事（5）第3回会議資料に関する事前意見	
≫事務局（東園）より、資料5「第3回会議資料に関する事前意見」を説明。	
3. 議事（6）その他 質疑応答	
蓑茂委員	・アンケートを区毎で行うことも検討し、もう一回アンケートを実施してはどうだろうか。時代にあった参加計画の立て方をお願いしたい。
岩佐委員	・公園の活用として防災の意見があったが、学校についても防災が進むと思う。 ・学校緑化の現状を河上委員からお聞きしたい。昨今の学校の緑化の推移などもあれば教えてほしい。
河上委員	・コンクールの観点は5項目ある。その中で、連携・交流という観点がある。 ・具体的な例として、広がりのある環境緑化活動、家庭や地域への啓発や交流、近隣校や他の関係機関との連携交流、緑化に関する震災復興支援も大きな項目としてある。 ・したがって学校の緑化活動をする上で、大きな柱になっているのは、地域の緑の拠点としての学校の運営である。 ・震災、熱中症、コロナを踏まえた緑化活動を行っている。 ・緑化活動は、教育の教材となる。緑の基本計画は先生たちにも見てほしい。 ・緑化活動は先生の視点次第で変化するため、緑の基本計画に期待している。
柳井委員	・発言できなかったことは、会議後にメール等で対応いただきたい。
内野委員長	・これで予定していた議事をすべて終了させていただく。 ・長時間に渡るご審議感謝する。 ・事務局は委員の皆様の意見を参考にし、具体的な文案作りに当たるようお願いする。
4. 閉会	
事務局（吉田）	・ポイントとなるたくさんのご意見、ありがとうございました。 ・今後の流れについては、今回の会議でいただいた意見をまとめ、皆様に送付し、それを見て意見を寄せていただきたい。 ・次は素案に入るので、素案についての会議になる。11月末開催の予定である。詳細の日程は調整させていただくが、かなりボリュームが大きい。出来れば集まっての会議としたいがウェブ会議になる可能性もある。 ・その際は工夫をしながらご意見をいただきたいと思う。よろしく願います。 ・これをもって、第3回緑の基本計画改定委員会を閉会とする。